

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいスイッチ上峰		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 16日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 12名(57.1%)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 26日		2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また事業所の設備等、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	視覚的支援の充実を図り、ホワイトボードや掲示物を見たら、一日の流や活動内容などが理解出来る様になっている。また、SSTの一貫として感情の指標を示したり、興奮した際にカードにて意思表示(一人になりたいです、話がしたいです等)が出来るような仕組みも作っている。	定期的なミーティングを行い、環境についての見直しを行っていく。また、視覚的支援で溢れすぎないように配慮も行っていく。
2	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	日々のミーティングの中で、児童の情報について共通理解を深めると共に、定期的なモニタリングを行い、各児童に対する支援内容や必要教材の検討を行っている。共通認識を深める事で一貫した支援へと繋げている。	定期的なモニタリングや支援会議を行うことで支援の方向性を統一し、一貫した支援を提供できるようにしていく。SSTの方法についても学びを深めていく。(研修受講や勉強会を行う等)
3	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	集団活動と個別活動(ワーク)を適宜組み合わせ取り入れている。放課後はサービス提供時間の短さもある為、全体に向けやSSTなどを帰りの会の時間などに行っている。また、学級日に児童発達支援と同じ時間を過ごす場合は、時間や環境を分け活動を行うようにしている。	集団活動と個別活動どちらも、内容が固定化しないように日々プログラムの見直しや検討を行っている。学級日は状況に応じてイベント活動自体をレベル分けし実施する等検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設ける事が出来ていない。	弊社グループ内の他事業所との交流は、運動会やそうめん流し、もちつき等季節のイベントと一緒に活動している。放課後児童クラブや児童館との交流については、利用時間及び内容について考えた場合、難しい部分があり実施に至っていない。	今後検討が必要である。まずは職員同士や地域との交流を職員が深める事から始め、実施に向けて少しずつでも動いていければいいなど感じる。
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加出来る研修の機会や情報提供等を行っていない。	悩みや課題等について相談がある場合は、送迎時や電話、口頭にてその都度対応しているが、専門的な知識での適切なアドバイスが出来ていない事もある。また、保護者向けの勉強会や交流の場も提供できていない。	ペアレントトレーニングについては、研修参加や勉強会などを行いながら、支援者全体の理解を深めていく必要がある。行政や他の支援機関など必要に応じて適切な支援機関を紹介し、家庭全体のサポートにつなげていく。また、保護者向け勉強会や交流の場作りも検討していく必要がある。
3	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける事が出来ていない。きょうだい同士で交流する機会を設ける事が出来ていない。	事業所内のきょうだい間で交流する機会はある。保護者会等については事業所単体という形ではなく、グループ全体で検討している。時間・場の設定などで難しい部分があり、現在のところ実施できていない。(事業所単体だと駐車スペースがあまりないなどで実施困難である。)	実施に向けて具体的な検討を行っていく必要がある。またグループ全体での連携も必要である。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和8年3月6日

利用児童数

21名

回収数

12名(57.1%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1			・中の構造を見ていないため不明。	・いつでも見れる体制を作っておく。 ・InstagramやHUGアプリで室内の様子なども発信していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	2		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	2	6	・未来ケアグループではあると思うが、 その他の子どもたちとの交流があるかは 分かりません。	・他会社との交流がある場合は全体的な発信を 行っていく。 ・実施後はInstagramやHUGアプリで発信して いく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	2	2	・2月に予定されており、参加予定で す。	・年に1回以上は実施を継続していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	10	1	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	3	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	4	3	・兄妹は参加したことありません。	・年に1回以上は実施を継続していく。 ・きょうだい児も参加出来る様なプログラ ムを検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			4	・今のところ事故や怪我をしていないので分かりませんが、普段から利用中の様子や支援方法など密に知らせていただいているため、説明があると思っています。	・どのような体制で連絡を実施するか等、契約時を含めて細やかに説明を行っていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1				

